

## 令和 8 年度を迎えるにあたって

令和 8 年度がスタートいたしました。今年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。子供たちの健やかな成長は、学校・家庭・地域が同じ方向を向いて支えることで、より確かなものになると考えております。本校では、「子供たちと創る楽しい学校づくり」を掲げ、「自分の気持ちを伝えること」「友達を大切にすること」を柱に教育活動を進めてまいります。子供たちが安心して挑戦し、自分らしさを発揮できる環境づくりに努めてまいりますので、今後とも温かいご支援をお願いいたします。ご心配な点がございましたら、どうぞ遠慮なくご相談ください。

## 学校経営の重点はこの 3 つです

今年度の学校経営の重点は以下の通りです。始業式では子供たちにも 1 と 2 についてお話をしました。

### ① 自分の思いを表現できる児童の育成

本校では、自分の考えや気持ちを言葉で伝える力を大切にしています。授業や学校生活の中で、話す・書く・対話する活動を意図的に取り入れ、安心して発言できる環境づくりに努めます。自分の思いを適切に表現できる力は、これからの社会を生きる上で欠かせない基盤であると考え、継続的に育成してまいります。

具体的施策:授業中のペア活動、グループ活動の推進、書く活動(R80 の導入)、学活・道徳の話し合い活動の充実

### ② 自他を大切にできる児童の育成

自分を大切にするとともに、他者の違いや個性を認め、思いやる心を育てます。日々の学級活動や道徳教育を通して、相手の立場に立って考える力や、互いに支え合う姿勢を養います。安心して過ごせる学校づくりの中で、豊かな人間関係を築ける児童の育成を目指してまいります。

具体的施策:いじめ防止集会(年 3 回児童主体で実施)、ふれあいタイム(縦割り班活動の充実)、未来の種プロジェクト(児童の「やってみたい」を具現化する活動)の推進

### ③ 保護者・地域との連携

児童の健やかな成長には、学校と家庭、地域との連携が不可欠です。本校では、情報発信の充実や行事への参加を通して、保護者や地域の皆様とのつながりを大切にしていきます。互いに理解を深め、協力し合う関係を築くことで、子どもたちにとってより良い教育環境を整えてまいります。

具体的施策:コミュニティスクールを活用した地域との連携、PTA をいかした保護者との連携、児童の様子を学校と保護者で共有する連絡の充実

## 学校生活の変更点について

谷田部小学校では、今年度より学校生活においていくつかの変更点がございます。つきましては、そのご紹介をしたいと思います。

### 1 日課について

基本的には昨年度とほぼ同じなのですが、**2 年生の時間割のみ変更**となります。昨年度までは 2 年生の火曜日は 6 時間授業でしたが、今年度からは月曜日から金曜日まで全日基本 5 時間授業となります。

(6 月に予定されている内科検診では、児童数が増加していることから 6 時間になる日があります。6/3・  
・3 年生が 6 時間、6/10・  
・2 年生が 6 時間、6/17・  
・2 年生が 6 時間 期日が近くなってきま

したらまたご連絡いたします)

これらは文科省が提唱している「学びの質を高めるための授業時数の適正化」と「働き方改革の両立」をもとにしております。時数を削減する＝質を下げるのではなく、短い時間でも深く学ぶ授業設計をしていきます。

## 2 電話対応時間の変更について

昨年度まで、本校は電話対応時間を 18:00 までとさせていただいておりましたが、これを 17:30 までとさせていただきます。これは、昨年度からの給特法の改正によるものです。

給特法等一部改正法は、学校における働き方改革のさらなる加速化、組織的な学校運営や指導の促進、教師の処遇改善を一体的・総合的に進めるため、6月18日に公布。2026年4月1日（一部の規定は公布日または2026年1月1日）から施行されております。

具体的には、教職調整額の基準となる額を給料月額4%から10%へ引き上げ、教育委員会に対する「業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定と実施状況公表の義務付け、教職員間の総合的な調整を担う「主務教諭」創設、義務教育等教員特別手当の支給を実現するための規定の整備などを盛り込むという内容です。これに伴い、教員の業務量管理がより一層厳しくなりました。月の時間外勤務は45時間以内、年間でも360時間以内という目標値が設定され、将来的には月の時間外勤務は30時間以内を目指すとのことでした。これらのことから、放課後の電話対応時間を早めることにいたしました。また、同様の理由から放課後の忘れ物対応に関しましても、勤務時間外(16:35以降)の対応は行わないこととさせていただきます。これらの取組は教員が心身ともにゆとりを持ち、子供たち一人一人と丁寧に向き合う時間を確保することや、明日の授業準備の時間を確保することを目的としております。

## 3 職員の休憩時間の確保について

働いていらっしゃる保護者の皆様方のご存じだと思いますが、労働基準法によれば一日6時間以上勤務をする場合には45分の休憩を与えなくてはなりません。ところが教員は業間休みや昼休み、給食中でさえも絶えず児童監督や指導を継続しています。つまり休憩時間の確保ができない状況です。そこで、空き時間や放課後の時間を活用して休憩時間の確保に努めていきます。もしかすると保護者の皆様からご連絡をいただいた際にも「休憩中で不在」の場合がございます。ご了承いただければと思います。

## 4 児童の染髪やピアスについて

この件につきましては、昨年度から保護者の方々から「学校としてどのように考えているのか」というご意見をいただいております。校内で次年度の教育計画を策定する際にも、児童の安全・安心・そして健康な学校生活の確保という観点からこの問題について話し合ってきました。学校としての見解は以下の通りです。本校では、児童の健やかな成長と安全を最優先に考え、染髪については頭皮や毛髪への影響を踏まえ、健康上の理由から控えることが望ましいと判断しております。また、ピアスにつきましては、運動時や日常生活におけるけが防止の観点から、原則として禁止といたします。ただし、外国の伝統や文化的背景に由来する場合には、個々の事情を大切に、保護者の皆様と丁寧に話し合いを行いながら柔軟に対応してまいります。全ての児童が安心して学校生活を送れる環境づくりのため、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。※別紙にて染髪が健康に与える影響についての資料を添付いたしますのでご確認ください。

これらの取組を通して、子供たちとともに「楽しい学校づくり」を進めていきたいと考えております。様々な変更点がありますが、これは教員という職業を持続可能で魅力あるものとし、子供たち一人一人と丁寧に向き合う時間を確保するためのものです。その結果として、子供たち一人一人に質の高い教育を提供してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# 小学保健ニュース

©少年写真新聞社2026年

株式会社 少年写真新聞社

〒102-8232 東京都千代田区九段南3-9-14 HF九段南ビル

<https://www.schoolpress.co.jp/>

★定期刊行物は終わる期間を予定しない刊行物です。年度が替わりましても、  
購読中止のお申し出がない場合、引き続きニュースをご送付申し上げます。  
★著作権法により、本紙の無断複写・転載は禁じられています。



## 子どものヘアカラーについて

ジョイ皮膚科クリニック 院長 西岡 和恵

### はじめに

最近では小学生でも、「かわいいから」「同じクラスの子が染めているから私もしたい」などの理由から、ヘアカラーをすることがあるようです。ヘアカラーは、大人でもひどいアレルギーを起こして、頭の皮膚だけではなく、全身に湿疹を起こしてしまうようなこともあります。子どもの頃からおしゃれのために、ヘアカラーを不用意にすることはすすめられません。ここでは、子どもと大人の皮膚の違いやヘアカラー剤の種類、アレルギーの原因となる成分、ヘアカラーによるアレルギーの症状などについて解説していきます。

### 子どもの皮膚と大人の皮膚

子どもの皮膚は大人の皮膚に比べて、皮膚の最表層の角層が薄く、また皮脂の分泌が少ないため、体外からの物理的・化学的物質の侵入を防ぐバリア機能が弱いことが知られています。子どもでは化学物質が大人よりも浸透しやすく、ヘアカラー剤を使用することはアレルギー反応を起こしやすいといえます。

### ヘアカラーの種類

色素を含むヘアカラーリング製品には、医薬部外品に属する「ヘアカラー」や「白髪染め」と呼ばれる「永久染毛剤」と、化粧品に分類される「染毛料」に大きく分類されます。「染毛料」には、半永久染毛料（ヘアマニキュア、ヘアカラートリートメント）や一時染毛料（ヘアマスカラ、カラースプレー）が含まれます。

これらのうち、アレルギーを起こしやすいヘアカラーは、医学部外品に属する永久染毛剤です。

### ヘアカラーによる皮膚傷害

ヘアカラーによるアレルギー性のかぶれでは、生え際、頭皮、耳などにかゆみ、赤み、ぶつぶつなどの症状を生じます。症状は数日続き、頭や顔だけではなく、体や手足にまで拡大することもあります。

また、まれに染毛中や終了間もなく、全身皮膚にじんましんのような発赤や<sup>そうよう</sup>掻痒を生じるとともに、冷汗、息苦しさ、しびれ感などの気分不良を来してアナフィラキシーショックとなり、生命に関わることもあります。

アレルギーの原因は、酸化染毛剤の成分であるパラフェニレンジアミン、硫酸トルエン-2,5-ジアミン、パラアミノフェノールなどの酸化染料が主体です。特にパラフェニレンジアミンは感作性が強く、染毛剤のほかの成分とも<sup>そごき</sup>交叉感作を来しやすい物質です。

### おしゃれは大人になってから

毛染めによるアレルギーは症状が強く、一度アレルギーになるとそのアレルギーは長く続き、大人になってもヘアカラーを使用できなくなる可能性があります。最近では、東南アジアで天然染料を使ったボディーペイントを行い、その中にアレルギーの原因となるパラフェニレンジアミンが含まれていて、アレルギーになる子どもが報告されており、海外で問題となっています。子どもはヘアカラーを使用しないこと、がすすめられます。

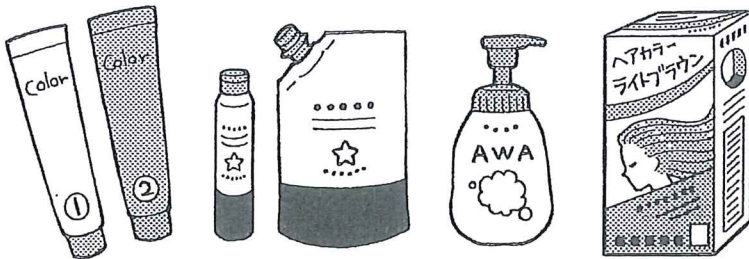
## ヘアカラーざいによって起こる皮膚のトラブル

指導 ジョイ皮膚科クリニック 院長 西岡 和恵 先生

大人が“おしゃれ”としてかみの毛を染めるときに使うヘアカラーざいには、皮膚を刺激する成分がふくまれているため、アレルギーを起こすことがあります。

皮膚がうすく、刺激を受けやすい子どものうちは、かみの毛を染めるのをやめましょう。

### 皮膚のトラブルの原因になるヘアカラーざい

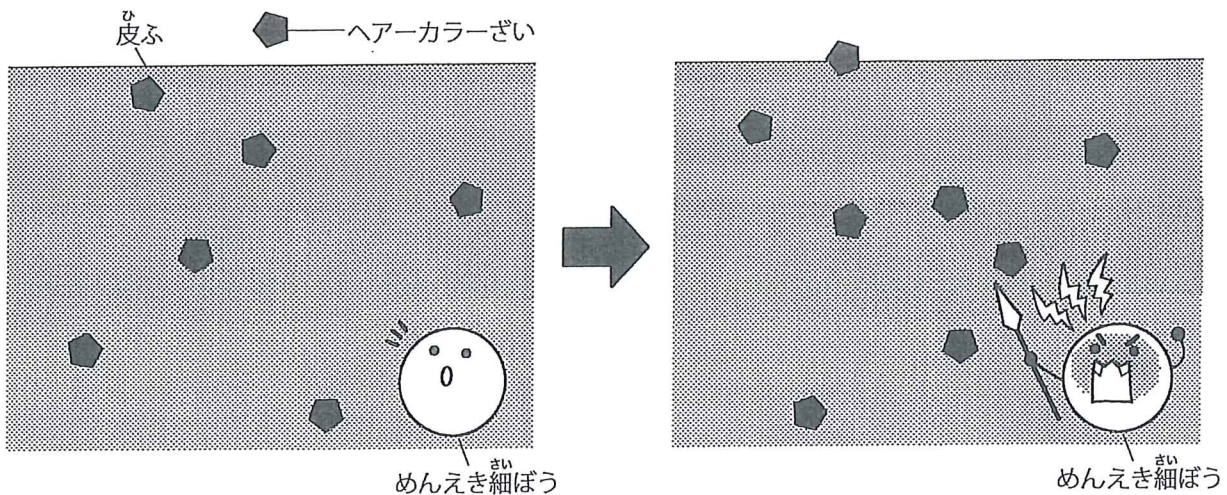


パラフェニレンジアミン  
トルエン-2,5-ジアミン  
メタアミノフェノール  
パラアミノフェノール など

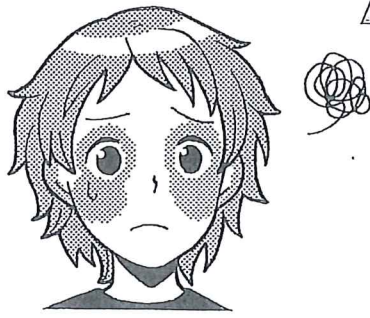
アレルギーを起こす、多くの化学物質がふくまれています。

### ヘアカラーざいに反応して起こるアレルギー

細菌やウイルスから体を守る働きをする「めんえき細ぼう」が、間ちがってヘアカラーざいに反応してしまうことで、皮膚が赤くはれたり、強いかゆみが出たりします。



おも しょうじょう  
主な症状



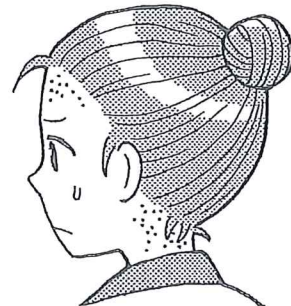
あか ひ あか  
赤み (皮ふが赤くなる)



かゆみ



はれ

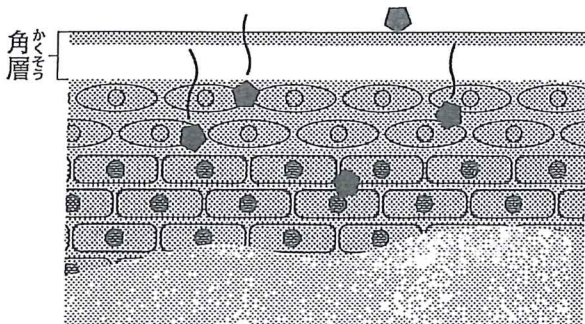


ぶつぶつができる

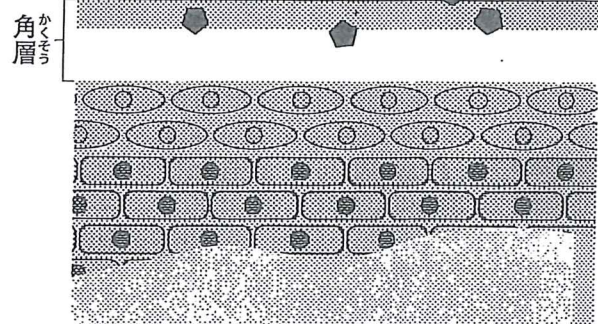
アレルギーを起こしやすい子どもの皮ふ

子どもの皮ふは大人の皮ふと比べて、いちばん外側にある、皮ふを守る「角層」がうすいため、ヘアカラーざいが皮ふの中に入りこみやすく、子どものほうがアレルギーが起こりやすいです。

こども



おとな  
大人



“おしゃれ”は **大人** になってから



アレルギーは、数回使って問題がない場合でも、症状がとつ然出ることがあります。一度症状が出ると、大人になっても同じ成分にふれるたびに反応して症状を起こしてしまうため、子どものうちはかみの毛を染めるのをやめましょう。